

豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～よりよい子育て支援施策の推進のため、あなたの声をお聞かせください～

I ご家庭の環境について

あて名のお子さんをご家族の状況についてお聞きします。

【問1】お住まいの小学校区を記入してください。分からない場合は、お住まいの町名を記入してください。

{ } 小学校区 … 校区が分からない場合 → 町名 { }

【問2】あて名のお子さんの生まれた年月を記入してください。

西暦 { } 年 { } 月生まれ

【問3】あて名のお子さんを含め、生計を一緒にする世帯人数は何人ですか。そのうち、お子さんの人数は何人ですか。
{ } 内に記入してください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、あて名のお子さんが上から何番目のお子さんか、また、最も年下の子の生まれた年月を記入してください。

世帯人数 { } 人

うち、お子さんの数 { } 人

お子さんが
2人以上の方
→

あて名のお子さんは 上から { } 番目

最も年下の子は 西暦 { } 年 { } 月生まれ

【問4】この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

【問5】この調査票にご回答いただいている方の婚姻関係について、当てはまる番号いずれかに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

【問6】あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

【問7】あなたの世帯全員の収入（ボーナスを含む年間の手取り額）を記入してください。

{ } 万円

※収入とは、勤労収入（パート・アルバイト含む）、事業所得、農業所得、不動産所得、利子・配当金、公的・個人年金、社会保障給付金（児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、生活保護費）などを全て含めた金額です。

※手取り額とは、税金（所得税・住民税）、社会保険料（健康保険料・年金保険料・介護保険料）を控除した後の金額です。住宅ローンや生命保険料、社内積み立てなどは控除の対象外です。

※問3で回答した生計を一緒にする世帯人数分の収入の手取り額を合計してください。

【問8】日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族や知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

→ 問10へ

【問9】問8で「5」に○をつけた方にお聞きします。

その理由として、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 近くに親族がいない
2. 近くに親族はいるが就労しており、子どもをみてもらうことができない
3. 近くに親族はいるがその他の事情により、子どもをみてもらうことができない
4. 親族や知人に負担をかけることが心苦しく、依頼できない
5. その他 ()

就労状況についてお聞きします。

【問10】保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、次のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3」又は「4」に○をつけた方は、(1)(2)の質問にお答えください。〔 〕内には、平均的な労働日数や時間を記入してください。

※短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間で記入してください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない
 - (1) 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間
 - (2) フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある
 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である
 - (1) 産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。
1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間
 - (2) フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある
 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない } → 問12へ
6. これまで就労したことがない

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない
 2. フルタイムの就労・雇用で、育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない
 - (1) 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間
 - (2) フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。
 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある
 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい
 4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である
 - (1) 育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。
1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間
 - (2) フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。
 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある
 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない
- } → 問 12 へ

【問 11】 問 10 (1) (2) で「1」～「4」に○をつけた方にお聞きします。

母親と父親が家を出る時刻と帰宅時刻をそれぞれお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（お子さんの送迎や習い事、買物などの時間は含まず、出勤～勤務～帰宅の時間でお答えください）。また、主たる勤務先の市町村について、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
家を出る時刻〔 〕時〔 〕分	家を出る時刻〔 〕時〔 〕分
帰宅時刻〔 〕時〔 〕分 ※24 時間制	帰宅時刻〔 〕時〔 〕分 ※24 時間制
勤務先の市町村 1. 市内 2. 東三河地域 3. その他県内 4. 静岡県浜松市・湖西市 5. その他県外	勤務先の市町村 1. 市内 2. 東三河地域 3. その他県内 4. 静岡県浜松市・湖西市 5. その他県外

→問 14 へ

【問 12】 問 10 (1) (2) で「5」又は「6」に○をつけた方にお聞きします。

就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号 1つ に○をつけて、〔 〕内には数字を記入してください。また、「1」又は「2」に○をつけた方は、希望する就労形態について、当てはまる記号 いずれかに ○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. すぐにでも就労したい } →ア、イの選択へ	1. すぐにでも就労したい } →ア、イの選択へ
2. 1年以内に就労したい } ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） → 1週当たり〔 〕日 → 1日当たり〔 〕時間	2. 1年以内に就労したい } ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） → 1週当たり〔 〕日 → 1日当たり〔 〕時間
3. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい	3. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい
4. 就労せず、子育てや家事などに専念したい	4. 就労せず、子育てや家事などに専念したい

} 問14へ

【問 13】 問 12 (1) (2) で「1」に○をつけた方にお聞きします。

就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 保育サービスが利用できない	1. 保育サービスが利用できない
2. 育児と両立できる仕事がない	2. 育児と両立できる仕事がない
3. 就労への家族の理解がない	3. 就労への家族の理解がない
4. やりたい仕事が見つからない	4. やりたい仕事が見つからない
5. 健康上の理由	5. 健康上の理由
6. 現在妊娠中である	6. その他 ()
7. その他 ()	

育児休業の取得状況についてお聞きします。

※「育児休業制度」…育児・介護休業法が改正され、男女とも仕事と育児を両立できるように、「産後パパ育休制度（出生時育児休業）の創設や、事業主に育児休業制度などに関する研修の実施、対象者への個別周知・意向確認が義務化されました。「産後パパ育休」は、通常の育児休業とは別に、子の出生後8週間以内に4週間まで、2回まで分割して取得することができます。また、「育児休業」は、子の1歳の誕生日の前日までに、2回まで分割して取得できるようになり、さらに、保育所などに入園できないなどの事情により育休を延長（最長2歳、公務員の場合は3歳）する場合、開始日を柔軟に取得できるようになりました。

【問 14】 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業（産後パパ育休を含む）を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 取得した（取得中である）	1. 取得した（取得予定である）
2. 取得していない →問 17 へ	2. 取得していない（取得予定がない） →問 17 へ
3. 働いていなかった →問 18 へ	3. 働いていなかった →問 18 へ

【問 15】 問 14 (1) (2) で「1」をつけた方にお聞きします。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「1」に○をつけた方は、希望していた復帰時期と実際の復帰時期を、「2」に○をつけた方は、現在予定している職場への復帰時期（取得期間）を〔 〕内に記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した →希望：子が〔 〕歳〔 〕か月の時 →実際：子が〔 〕歳〔 〕か月の時	1. 育児休業の取得期間（職場復帰済） →希望：〔 〕月・週・日 →実際：〔 〕月・週・日
2. 育児休業中である →子が〔 〕歳〔 〕か月の時復帰予定	2. 育児休業中又は取得予定である →取得期間〔 〕月・週・日
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

【問 16】 問15(1)(2)で「1」に○をつけた方で、育児休業の取得期間が希望と実際に異なる方にお聞きします。育児休業の取得期間が希望と異なる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 希望より取得期間が短かった方

①母親	②父親
1. 希望する保育所などに入るため	1. 希望する保育所などに入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

(2) 希望より取得期間が長かった方

①母親	②父親
1. 希望する保育所などに入れなかったため	1. 希望する保育所などに入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

→問 18 へ

【問 17】 問 14 (1) (2) で「2」に○をつけた方にお聞きします。

育児休業を取得していない理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 保育所などに預けることができた	2. 配偶者が育児休業制度を利用した
3. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	
4. 収入減となり、経済的に苦しくなる	5. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった	7. 仕事が忙しかった
8. 昇給・昇格などに悪影響があると思った	9. 休業から仕事に復帰することに不安があった
10. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	
11. 有期雇用のため、育児休業の取得要件を満たさなかった	
12. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した	
13. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	14. 子育てや家事に専念するため退職した
15. 自営業	16. その他 ()

(2) 父親

1. 保育所などに預けることができた	2. 配偶者が育児休業制度を利用した
3. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	
4. 収入減となり、経済的に苦しくなる	5. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった	7. 仕事が忙しかった
8. 昇給・昇格などに悪影響があると思った	9. 休業から仕事に復帰することに不安があった
10. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	
11. 有期雇用のため、育児休業の取得要件を満たさなかった	
12. 子育てや家事に専念するため退職した	13. 自営業
14. その他 ()	

II 乳幼児期の教育や保育について

平日の定期的な教育・保育事業※の利用状況についてお聞きします。

※「教育・保育事業」…幼稚園、保育所、届出保育施設などの事業。親族・知人による預かりは含みません。また、「定期的」とは月単位で定期的に利用している事業で、一時的な利用は含みません。

【問 18】 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、「5」「6」「8」の事業は豊橋市では現在行われていません。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用 ※満3歳以上が対象）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ ※満3歳以上が対象）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けた定員 20 人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭などで 5 人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）
9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
11. 児童発達支援事業所（障害児通所施設）
12. その他（)

【問 19】 問 18 で「1」又は「2」に○をつけ、かつ「3」～「12」にも○をつけた方にお聞きします。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

【問 20】 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。

1. 利用している
2. 利用していない → 問 23 へ

【問 21】 問 20 で「1」に○をつけた方にお聞きします。

平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 事業所内保育施設
6. 居宅訪問型保育
7. 「5」「6」以外の届出保育施設
8. ファミリー・サポート・センター
9. 児童発達支援事業所
10. その他（)

【問 22】 問 20 で「1」に○をつけた方にお聞きします。

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間かを記入してください。

(1) 現在	1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 →〔 〕時から〔 〕時まで ※24時間制
(2) 希望	1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 →〔 〕時から〔 〕時まで ※24時間制

→問 24 へ

【問 23】 問 20 で「2」に○をつけた方にお聞きします。

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、〔 〕内には数字を記入してください。

1. 子どもがまだ小さいため →〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている
2. 子どもの祖父母や親戚の人にみてもらえる
3. 近所の人や父母の友人・知人にみてもらえる
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
9. その他（ 〔 〕 ）

休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用についてお聞きします。

【問 24】 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用が必要ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「2」又は「3」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。

(1) 土曜日	1. 利用する必要はない（父母のいずれか又は双方が家庭で保育できる） 2. ほぼ毎週利用が必要 } ⇒ 利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用が必要 } ⇒ 〔 〕時から〔 〕時まで ※24時間制
(2) 日曜日 ・祝日	1. 利用する必要はない（父母のいずれか又は双方が家庭で保育できる） 2. ほぼ毎週利用が必要 } ⇒ 利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用が必要 } ⇒ 〔 〕時から〔 〕時まで ※24時間制

【問 25】 あて名のお子さんが「幼稚園」を利用している方にお聞きします。

夏休み・冬休みなど長期休暇中に教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「2」又は「3」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } ⇒ 利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数日利用したい } ⇒ 〔 〕時から〔 〕時まで ※24時間制

病気の際の対応についてお聞きします。

【問 26】 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方(問20で「1」に○をつけた方)にお聞きします。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。

- | | |
|--------|------------------|
| 1. あった | 2. なかった → 問 29 へ |
|--------|------------------|

【問 27】 問 26 で「1」に○をつけた方にお聞きします。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を〔 〕内に記入してください(半日程度の対応の場合も1日としてください)。

1. 父親が仕事を休んだ	年間〔 〕日	} →問 29 へ
2. 母親が仕事を休んだ	年間〔 〕日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	年間〔 〕日	
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間〔 〕日	
5. 病児(病後児) 保育※を利用した	年間〔 〕日	
6. ベビーシッターを利用した	年間〔 〕日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間〔 〕日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕日	
9. その他 ()	年間〔 〕日	

※「病児(病後児) 保育」…病気中又は病気回復期に、勤務などで休暇取得できない保護者に代わって保育する事業

【問 28】 問 27 で「1」又は「2」に○をつけた方にお聞きします。

その際、「できれば病児(病後児) 保育を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。次に、(1)(2)の質問にお答えください。

- | | |
|--|--|
| <p>1. 病児(病後児) 保育を利用したいと思った</p> <p>(1) 利用したい日数 年間〔 〕日</p> <p>(2) 利用する場合、いずれの事業形態が望ましいですか。当てはまる番号<u>すべてに</u>○をつけてください。</p> <p>1. 幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもを保育する事業</p> <p>2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業</p> <p>3. 地域住民などが子育て家庭の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター)</p> <p>4. 家に来てもらい預かる事業</p> <p>5. その他 ()</p> | |
| <p>2. 利用したいと思わなかった</p> <p>(1) その理由として、当てはまる番号<u>すべてに</u>○をつけてください。</p> <p>1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安</p> <p>2. 地域の病児(病後児) 保育事業の質に不安がある</p> <p>3. 利用可能時間、日数などが利用しにくい</p> <p>4. 近くにないため利用しにくい(→施設まで〔 〕分くらいなら利用したい)</p> <p>5. 利用料がかかる・高い</p> <p>6. 利用料がわからない</p> <p>7. 親が仕事を休んで対応する</p> <p>8. その他 ()</p> | |

不定期の教育・保育事業の利用についてお聞きします。

【問 29】 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を〔 〕内に記入してください。

1. 一時預かり（一時保育） （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	年間〔 〕日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	年間〔 〕日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	年間〔 〕日
4. 子育て支援トワイライトステイ （児童養護施設などで休日・夜間に子どもを預かる事業）	年間〔 〕日
5. 届出保育施設・託児所	年間〔 〕日
6. ベビーシッター	年間〔 〕日
7. その他（ ）	年間〔 〕日
8. 利用していない 上記「1」～「7」の事業のうち、今後利用してみたい事業の番号（ ） 利用しなかった・できなかった理由（ ）	

【問 30】 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 29 の事業を利用する必要があると思いませんか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数）を〔 〕内にそれぞれ記入してください。

1. 利用したい	年間計〔 〕日
ア. 私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的	年間〔 〕日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	年間〔 〕日
ウ. 不定期の就労	年間〔 〕日
エ. その他（ ）	年間〔 〕日
2. 利用する必要はない	/

【問 31】 問 29 で「1」に○をつけた方にお聞きします。

一時預かりの利用を希望しながら、利用できなかったことはこの1年間にありましたか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。また、「1」に○をつけた方は、利用できなかった日数を〔 〕内に記入してください。

1. あった → 〔 〕日 2. なかった

【問 32】 問 29 で「1」に○をつけなかった方にお聞きします。

一時預かりを利用しなかった理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用対象でなかった（対象：生後6か月以上で保育所・認定こども園・幼稚園に通園していないこと）	
2. 事業を知らなかった	3. 利用する必要がなかった
4. 利用料が必要なため	5. 利用方法がわからない、手間がかかる
6. 預けることに不安がある	7. 利用する時間や場所の条件が合わない
8. 希望した日の空きがなかった	9. 利用することにためらいや後ろめたさがある
10. 利用することに配偶者などの理解が得られなかった	11. その他（ ）

【問 33】 一時預かりの利用の有無に関わらずお聞きします。

一時預かりについて期待することは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 利用できる日数を増やしてほしい	2. 利用できる曜日や時間を増やしてほしい
3. 施設数を増やしてほしい	4. 自宅の近くに施設があるとよい
5. 6か月未満でも利用できる施設があるとよい	6. 利用料の無償化や減額をしてほしい
7. 利用登録や予約方法を簡素化してほしい	8. その他 ()

【問 34】 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数）を〔 〕内にそれぞれ記入してください。

1. 利用したい	年間計〔 〕泊
ア. 冠婚葬祭	年間〔 〕泊
イ. 保護者や家族の育児疲れや育児不安	年間〔 〕泊
ウ. 保護者や家族の病気	年間〔 〕泊
エ. その他 ()	年間〔 〕泊
2. 利用する必要はない	

小学校就学後の放課後の過ごし方についてお聞きします。

【問 35】 あて名のお子さんについて、小学生のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を記入してください。また、「3」に○をつけた方は、利用を希望する時間を〔 〕内に記入してください。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 放課後児童クラブ（学童保育） ※ 1	週〔 〕日くらい →下校時から〔 〕時まで ※24 時間制
4. 放課後子ども教室 ※ 2	週〔 〕日くらい
5. のびるん de スクール ※ 3	週〔 〕日くらい
6. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
8. 放課後等デイサービス ※ 4	週〔 〕日くらい
9. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

※ 1 「放課後児童クラブ（学童保育）」…放課後や土曜日、長期休暇中など、保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合に、支援員の指導により、子どもの遊び及び生活の場を提供するもので、一定の利用料がかかります。

※ 2 「放課後子ども教室」…豊橋市では、①放課後児童クラブが利用できない校区、②外国籍児童の多い校区で、地域の方々の協力を得て、放課後の時間を過ごす場を提供しています（①は自主学習や遊び、②は外国籍児童を対象とした学習支援）。いずれも保護者の就労の有無は問いませんが、土・日・祝日や夏休みなどの長期休暇中は利用できません。

※ 3 「のびるん de スクール」…地域の人たちとふれあい、さまざまな体験活動を行う小学校放課後の新たな学びの場です。

※ 4 「放課後等デイサービス」…障害のある就学児童に対して、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進などの支援を行います。

【問 36】 問 35 で「3」に○をつけた方にお聞きします。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)
 (2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「1」又は「2」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。

(1) 土曜日	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯 〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制
(2) 日曜日 ・祝日	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯 〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制

【問 37】 問 35 で「3」に○をつけた方にお聞きします。

あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「1」又は「2」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯 〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制
--	--------------------------------------



とよはしハグっ子

とよはし子育て応援宣言

- ・未来を創る子どもの声を、笑顔を、優しく見守ります。
- ・子育てするすべての人に寄り添い、応援します。
- ・お互いさまの気持ちで、子どもの健やかな成長を支えます。

Ⅲ 出産や子育てについて

出産や子育てについてお聞きします。

【問 38】理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際（予定）の子どもの数 ※今後子どもを産む予定のある方は予定している子どもの数を含む	人

【問 39】理想とする子どもの数を実現するためには、どのようなことが必要とお考えですか。特に必要と思われること3つに○をつけてください。

1. 不妊治療への支援の拡充	2. 産前・産後の心身のケアの充実
3. 子育て世代の所得の向上	4. 子育て家庭への住宅支援の強化
5. 家事・育児サービスの充実	6. 配偶者との育児・家事・介護などの分担格差の解消
7. 長時間労働の抑制など、就労環境の改善	8. 男性の育児休業取得の推進
9. 育児休業取得後のキャリアアップへの支援	10. 先進的な教育、特色ある取組みなど教育の充実
11. 放課後児童クラブの充実	12. 塾や習い事の費用への助成
13. 大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減	14. 社会全体で子どもと子育てを見守り応援する環境
15. 子どもや子ども連れが安心して過ごせる施設の整備	16. 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境
17. その他（	）

【問 40】子育てに関して、不安などを感じることはありますか。

1. ある	2. どちらとも言えない	3. ない → 問 42 へ
-------	--------------	----------------

【問 41】問 40 で「1」又は「2」に○をつけた方にお聞きします。

その理由として、当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 子どもの病気や発育・発達に不安がある	2. 子どもの食事や栄養に不安がある
3. 子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある	4. 子どもの友だちづきあいに不安がある
5. 配偶者や身近な人の協力が少ない	6. 配偶者や身近な人と意見が合わない
7. 子育てにかかる経済的な負担が大きい	8. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない
9. 結婚や仕事などの都合による転居で、近くに親族（配偶者や子どもを除く）や知り合いがいない	
10. 子育て支援サービスの利用方法や相談先がよくわからない	
11. 子育て支援サービスを利用することに、ためらいや後ろめたさを感じる	
12. 子育てと親の介護が重なり、負担が大きい	13. 近くに子どもの遊び場がない（公園や児童館など）
14. 子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配	15. その他（
	）

【問 42】子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。①～⑧について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、配偶者の方に聞きながら回答してください。

区 分	(1)母親			(2)父親		
	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも
①子育ての方法がよくわからない	1	2	3	1	2	3
②子どもとの接し方に自信が持てない	1	2	3	1	2	3
③子どもとの時間を十分にとれない	1	2	3	1	2	3
④自分のやりたいことが十分にできない	1	2	3	1	2	3
⑤何もやる気が起こらないことがある	1	2	3	1	2	3
⑥子育てによる身体の疲れが大きい	1	2	3	1	2	3
⑦子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい	1	2	3	1	2	3
⑧子どもを虐待しているのではないかと思うときがある	1	2	3	1	2	3

【問 43】あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある
2. いない／ない（理由： _____ ） → 問 45 へ

【問 44】問 43 で「1」に○をつけた方にお聞きます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父母などの親族	3. 友人や知人
4. 子育て中の仲間	5. 園の先生・保育士	6. 医師・看護師・栄養士
7. 保健所の保健師・助産師【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】		
8. こども未来館の保健師・保育士【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】		
9. 地域子育て支援拠点（子育て支援センター、つどいの広場など）		10. 子育て支援団体
11. 地域の民生・児童委員、主任児童委員		12. その他（ _____ ）

Ⅳ 豊橋市の子育て環境・子育て支援サービスについて

個別の子育て支援施策に関することについてお聞きします。

子育てに関する情報提供についてお聞きします。

【問 45】あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「9」「10」に○をつけた方は、() 内でよく利用するものすべてに○をつけてください。

1. 親族（親、きょうだいなど）	2. 友人・知人
3. 認定こども園、保育所、幼稚園、学校	4. 市の広報紙「広報とよはし」
5. 豊橋子育て情報ハンドブック	6. 病院など医療機関
7. テレビ、ラジオ、新聞	8. 子育て雑誌・育児書
9. WEB サイト（市ホームページ・市子育て支援情報ポータルサイト「育なび」・それ以外）	
10. SNS（Instagram・X（旧 twitter）・その他（ ））	
11. コミュニティー誌	12. その他（ ）
13. 情報の入手手段がわからない	

【問 46】次の豊橋市の子育てに関する情報提供ツールの利用（閲覧、フォローなど）について、当てはまる番号いずれかに○をつけてください。

情報提供ツール	二次元コード	利用の有無
①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」 子育てに関する市の情報を、目的や子どもの年齢などで分かりやすく提供しているホームページです。		1. ある 2. ない
②Instagram「育なび」 子育てに関するイベントや遊び場所など、最新の情報を写真で紹介しています。市民の方からの「#育なび」をつけた投稿も募集しています。		1. ある 2. ない
③ウェブアプリ「パパママみでみりん」 お出かけの際に役立つ、おむつ替えや授乳ができる「赤ちゃんの駅」や公園などの場所がわかる「マップ」や、子育て支援団体や施設などのお知らせを見ることができる「掲示板」「カレンダー」機能があります。		1. ある 2. ない
④とよはしパパママレポートブログ 市民目線の子育て情報を提供するため、子育て中のパパママが自身の体験談やお勧めスポットの情報を、ブログで紹介しています。		1. ある 2. ない
⑤豊橋市ひとり親家庭支援 LINE ひとり親の方が生活に役立つ情報を手軽に手に入れられるように、家計簿コラムの配信やセミナーなどの情報を配信しています。		1. ある 2. ない
⑥豊橋子育て情報ハンドブック 豊橋市の子育てに関するさまざまな情報を、「0～3歳」「4歳～」と年齢に応じてまとめた情報誌です。こども未来館や窓口センターなどで配布しています。		1. ある 2. ない

各種子育て支援サービスについてお聞きします。

【問 47】 あて名のお子さんの「地域子育て支援拠点事業」（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）について、（1）～（3）のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

地域子育て支援拠点事業の内容	(1) 認知	(2) 利用経験	(3) 利用希望
1. こども未来館の「子育てプラザ」 親子が自由に遊び、ふれあい、交流できる場です。子育ての相談や情報提供も行っています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない 3. 対象の子がいない
2. 地域子育て支援センター 育児相談や遊びの広場、親同士の交流の場の提供、広報紙の発行などを行っています。吉田方子育て支援センター、東山子どもセンター、下条子育て支援センター Koko、希望が丘子育て支援センター、こじか子育て支援センターばんび及びミラまち子育て支援センターの6か所で、週5日開催しています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない 3. 対象の子がいない
3. つどいの広場 親子が自由に遊び、情報交換ができる交流の場です。あいトピア、牟呂地域福祉センター、豊橋創造大学及び交通児童館の4か所で、週3日開催しています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない 3. 対象の子がいない
4. ここにこサークル 親子が集い、遊びや育児情報の交換、仲間づくりができる場です。地域のボランティアの先輩ママさんやスタッフが待っています。市民館などで月1～2回開催しています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない 3. 対象の子がいない

【問 48】 問 47 (3) で「1」に○をつけた方にお聞きします。

希望する事業に○をつけ、それぞれの希望する利用回数（頻度）を〔 〕内に記入してください。

地域子育て支援事業	希望する利用回数（頻度）
1. こども未来館の「子育てプラザ」	1週当たり〔 〕回 又は 1か月当たり〔 〕回程度
2. 地域子育て支援センター	1週当たり〔 〕回 又は 1か月当たり〔 〕回程度
3. つどいの広場	1週当たり〔 〕回 又は 1か月当たり〔 〕回程度
4. ここにこサークル	1週当たり〔 〕回 又は 1か月当たり〔 〕回程度

【問 49】 問 47 (3) で「2」に○をつけた方にお聞きします。

利用希望がない理由を記入してください。

地域子育て支援事業	利用希望がない理由
1. こども未来館の「子育てプラザ」	
2. 地域子育て支援センター	
3. つどいの広場	
4. ここにこサークル	

【問 50】 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。次の事業ごとに、(1)～(3) のそれぞれについて、当てはまる番号いずれかに○をつけてください。

サービスや施設	(1) 認知	(2) 利用経験	(3) 利用希望
①一時預かり（一時保育） 家庭での保育が一時的に困難な時に保育所等で保育を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
②病児（病後児）保育 保育所などに通う児童が病氣中または病氣回復期に保護者に代わって保育します。病児保育室つくし、市民病院院内保育所あおたけ、こじかこども園病児保育室の3か所で実施しています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
③子育て支援ショートステイ 保護者の病氣・出産・冠婚葬祭などによる児童の一時的な預かりを行っています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
④子育て支援トワイライトステイ 保護者が仕事などで平日の夜間（午後4時～10時までの4時間以内）または休日に養育できない時に、児童の一時的な預かりを行っています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑤ファミリー・サポート・センター 子育ての援助をできる地域住民が、保育所などの送迎や子どもの一時的な預かりなどを行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑥保育所など子育て支援地域活動 保育所やこども園、幼稚園などで、園庭開放による親子交流活動や相談活動、サークルの育成・活動支援などを行っています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑦赤ちゃんの駅 市内のおむつ替えや授乳ができる施設や店舗を赤ちゃんの駅として登録し、紹介しています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑧幼児ふれあい教室・パパママ子育て講座 地区市民館などで、親と子のふれあいを図るための各種講座を開催しています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑨【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 保健所・保健センター（ほいっぴ） ママサポーター（保健師・助産師）が、相談や情報提供を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑩【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 こども未来館（ここにこ） チャイルドサポーター（保健師・保育士）が相談や情報提供を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑪産後ケア事業 産後1年未満の産婦と乳児を対象に、医療機関等や自宅において助産師などが産婦の身体やこころのケアや授乳指導、乳児の発育・発達の確認の確認を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑫こども若者総合相談支援センター（ココエール） 家庭における児童の諸問題の相談に応じています。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない
⑬こども発達センター 心身の成長発達に心配がある子どもと家族を支援します。	1. 知っている 2. 知らない	1. ある 2. ない	1. ある 2. ない

地域団体との関わりについてお聞きします。

【問 51】 豊橋市内にはさまざまな子育て支援団体がありますが、(1) (2) について当てはまる番号いずれかに○をつけてください。

(1) 市内で活動する子育て支援団体を知っていますか (例：子どもの預かりや子育ての相談、子ども食堂など)	1. 知っている 2. 知らない
(2) これまでに子育て支援団体の行う支援や活動を利用したことがありますか (保護者又はあて名のお子さん以外を含む)	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない →問 53 へ

【問 52】 問 51 (2) で「1」に○をつけた方にお聞きします。

これまでに利用したことがある団体名やサービス名を記入してください。また、それをどこで(何で、誰から)知ったのかを記入してください。

(1) 団体名又はサービス名	(2) どこで知りましたか

公園の利用についてお聞きします。

【問 53】 総合公園(豊橋公園、幸公園、向山緑地、高師緑地)又は運動公園(岩田運動公園、豊橋総合スポーツ公園、明海公園)を子ども連れで普段利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-----------------|-------------------------|
| 1. 週に1回以上利用している | 2. 月に1回以上利用している | 3. 3か月に1回以上利用している |
| 4. 半年に1回以上利用している | 5. 年に1回以上利用している | 6. 1年以上利用していない → 問 56 へ |

【問 54】 問 53 で「1」～「5」に○をつけた方にお聞きします。

公園を主に利用する時間帯について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|----------------|
| 1. 平日の午前 | 2. 平日の午後 | 3. 土・日曜日・祝日の午前 |
| 4. 土・日曜日・祝日の午後 | 5. その他 () | |

【問 55】 問 53 で「1」～「5」に○をつけた方にお聞きします。

公園への主な移動手段について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|--------|-------|---------|-------|
| 1. 自家用車 | 2. 自転車 | 3. 徒歩 | 4. 路線バス | 5. 電車 |
| 6. その他 () | | | | |

【問 56】 子どもや子ども連れで公園を利用するにあたり、どのような設備が充実すると利用しやすくなると思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 駐車場の台数 | 2. 子どもや子ども連れが利用しやすいトイレ |
| 3. 小さな子どもも使える年齢層別の遊具やスペース | 4. 障害がある子どもも利用できる遊具 |
| 5. 日差しや暑さがしのげる屋根付きの休憩スペース | 6. 食事や読書などができるテーブルやイス |
| 7. カフェやキッチンカーなどの飲食店 | 8. 清涼飲料水の自動販売機の台数 |
| 9. その他 () | |

住まいについてお聞きします。

【問 57】 お子さんの出生後、住宅の住み替えをしましたか。又は今後予定がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「1」に○をつけた方は、住み替え前の地域に、「2」に○をつけた方は、住み替え予定や希望する地域に○をつけ、〔 〕内に地名を記入してください。

- | | | | |
|----------------|------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 住み替えをした | } → 問 60 へ | 1. 市内〔 〕校区 (※同じ校区の場合は現在の校区を記入) | |
| 2. 住み替えを予定している | | 2. 市外〔 〕市・町・村 | 3. 県外〔 〕都・道・府・県 |
| 3. していない、予定もない | | 4. 国外 | 5. 未定 |
| 4. 未定、その他 | | | |

【問 58】 問 57 で「1」又は「2」に○をつけた方にお聞きします。

住み替えの時期として、何を重視しましたか（しますか）。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 一番年上の子が生まれたとき | 2. 一番年上の子どもが保育所などに入所するとき |
| 3. 一番年上の子が小学校に入学したとき | 4. 子どもの人数が増えたとき〔 〕人目 |
| 5. 一番年上の子が〔 〕歳のとき | 6. 夫婦いずれかの実家を建て替えるとき |
| 7. 夫婦いずれかの転職や転勤のとき | 8. その他（ ）」 |

【問 59】 問 57 で「1」又は「2」に○をつけた方にお聞きします。

住み替えの際に重視した（する）ことについて、当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|-------------------|------------------|
| 1. 親族との同居（実家） | 2. 親族の家が近い | 3. 公共交通機関が利用しやすい |
| 4. 幹線道路へのアクセスがよい | 5. 買い物が便利 | 6. 病院が近い |
| 7. 学校が近い・教育が充実している | 8. 保育所・幼稚園などが近い | 9. 職場が近い・通勤に便利 |
| 10. 土地や家の価格が見合った | 11. 住宅取得費補助・定住奨励金 | 12. 公営住宅への入居 |
| 13. 公園が近い・自然や緑が多い | 14. 子育て支援が充実している | 15. その他（ ）」 |

【問 60】 子育て家庭が、住み替える際にあると望ましいものについて、当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 公営住宅への優先的な入居制度 | 2. 子育て家庭向けの空家の紹介や改修費補助制度 |
| 3. 住宅ローンの金利優遇制度 | 4. 子育て家庭向けの住宅取得補助・定住奨励金制度 |
| 5. 就労先での住宅手当・家賃補助などの充実 | 6. 子育て家庭が気兼ねなく入居できる環境の整備 |
| 7. その他（ ）」 | |

子どもの権利についてお聞きします。

【問 61】 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもの権利に関する国際的な条約「子どもの権利条約」（日本も加入している）があることを知っている |
| 2. 子どもの権利を擁護し、子どもが健やかに成長できる社会の実現を目的とした、「こども基本法」があることを知っている |
| 3. 子どもの権利や意見が最大限に尊重されることが大切である |
| 4. 子どもの権利や意見が家庭で尊重されていると思う |
| 5. 子どもの権利や意見が社会で尊重されていると思う |
| 6. 子どもや子育て家庭が、社会の「まんなか」になった制度や環境が整備されていると思う |

「子どもの権利条約」と「こども基本法」

「子どもの権利条約」は、「差別の禁止」「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「子どもの意見の尊重」の4つの原則を基本的な考えとして、生きる権利や成長する権利、暴力から守られる権利、教育を受ける権利、遊ぶ権利、参加する権利など、世界のどこで生まれても子どもたちが持っている、さまざまな権利が定められています。1989年に国連総会で採択され、日本は1994年に批准しています。

「こども基本法」は、「子どもの権利条約」の4つの原則を基本理念として2023年4月に施行され、子どもに関する施策を国や自治体が策定するときには、当事者である子どもなどの意見を反映させることを求めています。また、「こども家庭庁」では、こどもや子育て中の方々が気兼ねなくサービスを利用できるよう、地域社会、企業などさまざまな場で、全ての人々がこどもや子育て中の方々を応援する、社会全体の意識改革を後押しする取組みとして、「こどもまんなかアクション」を推進しています。

豊橋市では「豊橋市子ども・子育て応援プラン」の策定にあたり、子どもの権利を尊重するため、保護者への子ども・子育て支援に関するニーズ調査（本調査）に加え、子どもや若者の意見を取り入れていきます。

子育て環境や子育て支援サービス全般についてお聞きします。

【問 62】 豊橋市の子育て環境について、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと思いますか。次の各設問について、(1) (2) のそれぞれ1つずつに○をつけてください。

区 分	(1) 現在				(2) これから			
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえ ば そう思わない	そう思わない	重要だと思う	どちらかといえ ば 重要だと思う	どちらかといえ ば 重要だと思わな い	重要だと思わな い
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
②子どもの教育環境が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育ての相談窓口が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭子どものための医療施設が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮子育てが家族や地域の人に支えられている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰地域で子育てをする環境が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑲子育て支援に積極的な企業が多い	1	2	3	4	1	2	3	4

【問 63】 豊橋市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-----------------|----------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う | |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない | 5. わからない |

【問 64】 問 63 で回答した理由を記入してください。

【問 65】 豊橋市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望（子育てで大切なことや問題点など）がありましたら、自由に記入してください。

大変お疲れ様でした。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

《郵便で調査票を受け取られた方》

返信用封筒に入れ、**11月2日（木）**までに郵便ポストに入れてください。

《幼稚園・認定こども園・保育所などで調査票を受け取られた方》

調査票が入っていた封筒に入れ、**11月2日（木）**までに園に提出してください。

※ホームページから回答いただいた方は、調査票の提出は不要です。

＜本調査に関する問合せ＞

豊橋市こども未来部子育て支援課

電話：0532-51-2382 メール：kosodate@city.toyohashi.lg.jp